

2025年度の業績と2026年度の見通し

社長 井上 治

住友電気工業株式会社

2026年5月22日

目次

1. 2025年度の業績

1. 業績サマリー
2. 売上・営業利益推移
3. セグメント別売上高・営業利益
4. 貸借対照表
5. フリーキャッシュフロー

2. 2026年度の見通し

1. 連結業績予想
2. 中東情勢影響
3. セグメント別売上高・営業利益

3. 各セグメントの状況と取組み

1. 環境エネルギー
2. 情報通信
3. 自動車
4. エレクトロニクス
5. 産業素材

4. 企業価値向上に向けて

1. 連結業績推移
2. 設備投資
3. ROIC改善の取組み
4. ROE・セグメント別ROIC
5. 株式分割
6. 株主還元・配当
7. 五方よし
(マルチステークホルダーキャピタリズム)
8. 中期経営計画2028

(ご参考)

- ・株価推移
- ・通期業績推移（セグメント別）
- ・営業利益の増減益要因（24実→25実）
- ・営業利益の増減益要因（25実→26予）
- ・政策保有株式
- ・運転資金

1. 2025年度の業績

1 - 1. 業績サマリー

| | (26年2月公表) | | (23年5月公表) | |
|---------------------|-------------------------------------|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| | 2024年度 実績 | 2025年度 予想 | 2025年度 実績 | 2025年度 中計目標 |
| 売上高 億円 | 46,798 | 49,000 | 51,102 | 44,000 |
| 営業利益 | 3,207 | 3,750 | 4,182 | 2,500 |
| 経常利益 | 3,095 | 3,810 | 4,313 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,938 | 3,200 | 3,695 | |
| R O I C (税 引 前) | 9.3% | | 14.7% | 8%以上 |
| R O E | 8.6% | | 14.7% | 8%以上 |
| | 米ドル：153円 ユーロ：164円 銅建値：1,478千円 | | 米ドル：151円 ユーロ：175円 銅建値：1,695千円 | 米ドル：130円 ユーロ：140円 銅建値：1,200千円 |

売上高は、データセンター向け光配線製品・光デバイスなどの拡販に努めたほか、銅価格上昇の影響もあり、**前期比9%増収**。5兆円の大台に到達。

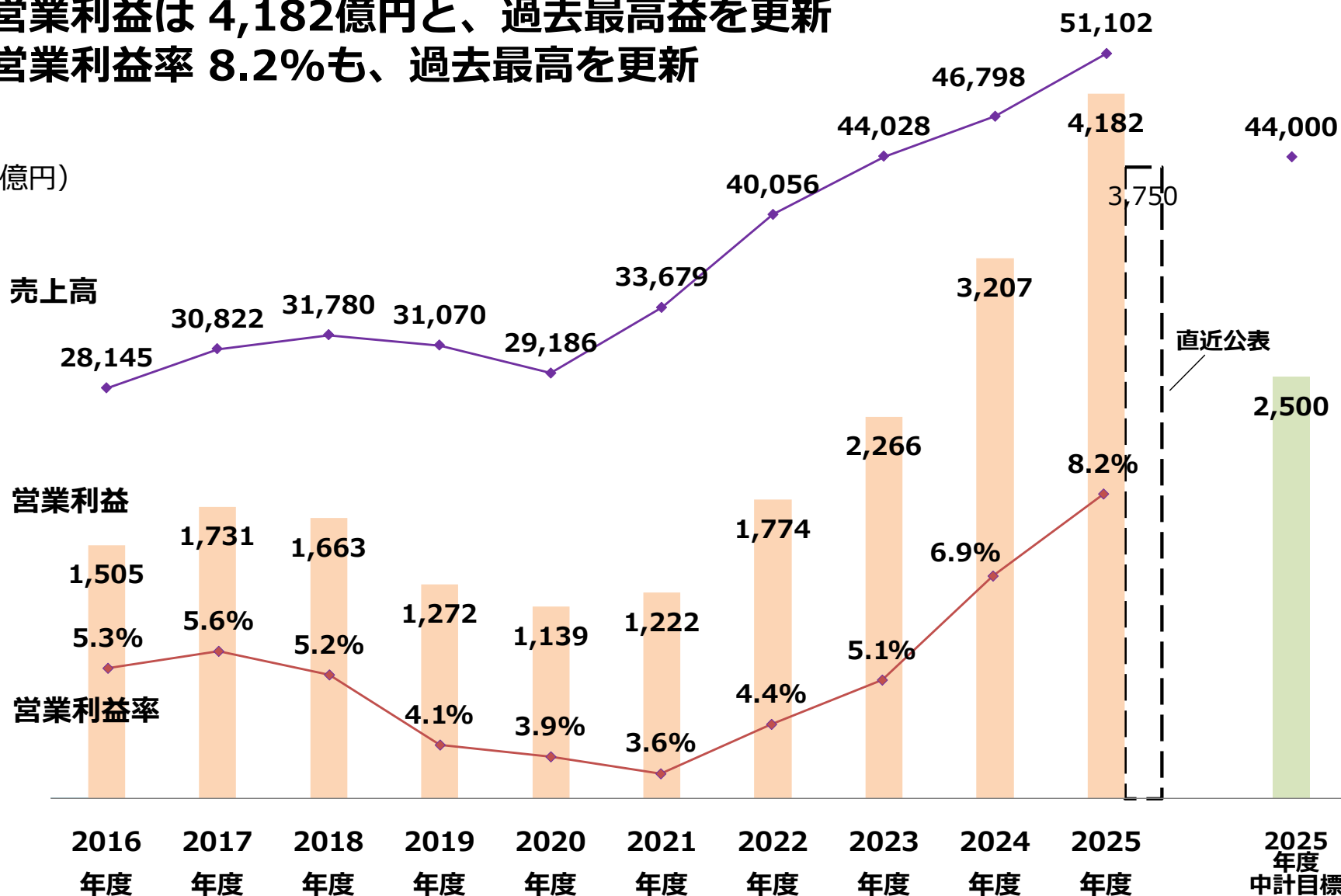
利益面では、品種構成の改善、徹底した生産性改善と売値改善に努め、**前期比増益**。特に、純利益は、電設売却の特別利益もあり、大幅増益。

売上高、営業利益、経常利益、純利益の全てにおいて、過去最高を更新。

1-2. 売上・営業利益推移

営業利益は 4,182億円と、過去最高益を更新
営業利益率 8.2%も、過去最高を更新

(億円)



1-3. セグメント別売上高・営業利益

全ての事業セグメントで、営業利益の過去最高を更新。

| 億円 | 2024年度 実績 ① | | 2025年度 2月公表 ② | | 2025年度 実績 ③ | | 前期比 ③-① | | 公表比 ③-② | |
|----------|----------------|-------|------------------|-------|----------------|--------------|------------|------|------------|------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 環境エネルギー | 10,813 | 787 | 11,500 | 770 | 11,788 | 906 | +974 | +119 | +288 | +136 |
| 情報通信 | 2,233 | 199 | 3,100 | 650 | 3,266 | 774 | +1,034 | +575 | +166 | +124 |
| 自動車 | 27,347 | 1,724 | 28,000 | 1,700 | 29,372 | 1,797 | +2,024 | +73 | +1,372 | +97 |
| エレクトロニクス | 3,772 | 293 | 3,900 | 350 | 4,091 | 395 | +318 | +102 | +191 | +45 |
| 産業素材他 | 3,727 | 206 | 3,900 | 280 | 3,884 | 314 | +157 | +108 | △ 16 | +34 |
| 合 計 | 46,798 | 3,207 | 49,000 | 3,750 | 51,102 | 4,182 | +4,304 | +975 | +2,102 | +432 |

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差は連結消去

1 - 4. 貸借対照表

| 億円 | 2025年 3月末① | 2026年 3月末② | 前期末比 増減②-① | 億円 | 2025年 3月末① | 2026年 3月末② | 前期末比 増減②-① |
|--------|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 現金及び預金 | 2,959 | 2,370 | △ 589 | 営業債務 | 4,738 | 4,877 | +138 |
| 営業債権 | 9,119 | 9,482 | +363 | 有利子負債 | 7,759 | 7,098 | △ 661 |
| 棚卸資産 | 9,230 | 10,181 | +952 | その他 | 6,615 | 7,921 | +1,306 |
| 有形固定資産 | 11,218 | 11,894 | +676 | 負債合計 | 19,112 | 19,895 | +783 |
| 投資有価証券 | 6,047 | 7,130 | +1,083 | 株主資本 | 18,629 | 21,245 | +2,616 |
| その他 | 5,842 | 7,187 | +1,345 | その他の包括利益累計額 | 4,275 | 6,189 | +1,915 |
| | | | | 非支配株主持分 | 2,400 | 916 | △ 1,485 |
| | | | | 純資産合計 | 25,304 | 28,350 | +3,046 |
| 資産合計 | 44,416 | 48,245 | +3,829 | 負債・純資産合計 | 44,416 | 48,245 | +3,829 |

1-5. フリーキャッシュフロー

前期に引き続き、4,000億円超の営業キャッシュ・フローを創出。
フリーキャッシュ・フローは、2,503億円の黒字を確保。

| | 億円 | 2024年度 実績 ① | 2025年度 実績 ② | 前期比 ② - ① |
|----------------------------|----|----------------|----------------|--------------|
| 税 前 当 期 純 利 益 | | 3,041 | 5,052 | +2,011 |
| 減 価 償 却 費 | | 2,062 | 2,098 | +37 |
| 運 転 資 産 の 増 減 | | △256 | △ 914 | △658 |
| そ の 他 営 業 キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー | | △824 | △ 1,985 | △1,161 |
| 営 業 キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー | | 4,023 | 4,252 | +229 |
| 有 形 固 定 資 産 の 取 得 | | △1,998 | △ 2,222 | △224 |
| 投 資 有 価 証 券 の 売 却 | | 130 | 113 | △17 |
| そ の 他 投 資 キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー | | △371 | 360 | +731 |
| 投 資 キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー | | △2,239 | △ 1,749 | +490 |
| フ リ ー キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー | | 1,783 | 2,503 | +720 |

2. 2026年度の見通し

2-1. 連結業績予想

| 億円 | 2024年度 実績 | 2025年度 実績 | 2025年度 | 2026年度 予想 | 前期比 増減率 | 2028年度 中計目標 |
|---------------------|--------------|--------------|----------------|--------------|------------|----------------|
| 売上高 | 46,798 | 51,102 | | 53,000 | +4% | 60,000 |
| 営業利益 | 3,207 | 4,182 | | 4,250 | +2% | 6,000 |
| 経常利益 | 3,095 | 4,313 | 住友電設 売却益を除く | 4,320 | +0% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,938 | 3,695 | (2,993) | 3,200 | △13% | |
| R O I C (税引前) | 9.3% | 14.7% | (12.5%) | 11.9% | | 15%以上 |
| R O E | 8.6% | 14.7% | (11.9%) | 11.4% | | 13%以上 |

米ドル：151円
 ユーロ：175円
 銅建値：1,695千円

米ドル：150円
 ユーロ：170円
 銅建値：1,900千円

米ドル：150円
 ユーロ：170円
 銅建値：1,900千円

2026年度より住友電設が連結対象から外れるが、情報通信セグメントの改善でカバーし、売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新する見込み。
純利益も住友電設売却益を除いた実力ベースでは増益を見込む。

2-3. セグメント別売上高・営業利益

26年度は、情報通信、自動車、産業素材他が、営業利益の過去最高を更新する見通し。

| 億円 | 2025年度 | | 2026年度 | | | | 前期比 | | 2028年度 | |
|----------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|----------|--------|--------|-------|
| | 実績① | | 上期予想 | | 年間予想 ② | | ②－① | | 新中計目標 | |
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 環境エネルギー | 11,788 | 906 | 5,000 | 140 | 10,600 | 440 | △1,188 | △466 | 12,000 | 700 |
| (内、住友電設) | (2,284) | (256) | | | | | (△2,284) | (△256) | | |
| 情報通信 | 3,266 | 774 | 2,000 | 510 | 5,000 | 1,300 | +1,734 | +526 | 9,700 | 2,400 |
| 自動車 | 29,372 | 1,797 | 14,800 | 650 | 30,400 | 1,840 | +1,028 | +43 | 31,000 | 2,100 |
| エレクトロニクス | 4,091 | 395 | 2,100 | 210 | 4,100 | 330 | +9 | △65 | 4,400 | 400 |
| 産業素材他 | 3,884 | 314 | 2,100 | 160 | 4,200 | 340 | +316 | +26 | 4,700 | 400 |
| 合 計 | 51,102 | 4,182 | 25,400 | 1,670 | 53,000 | 4,250 | +1,898 | +68 | 60,000 | 6,000 |

※ 各セグメントを足し合わせた数値と、合計欄の金額の差はセグメント間消去

3. 各セグメントの状況と取組み

3 - 1. 環境エネルギー

事業環境・26年度見通し

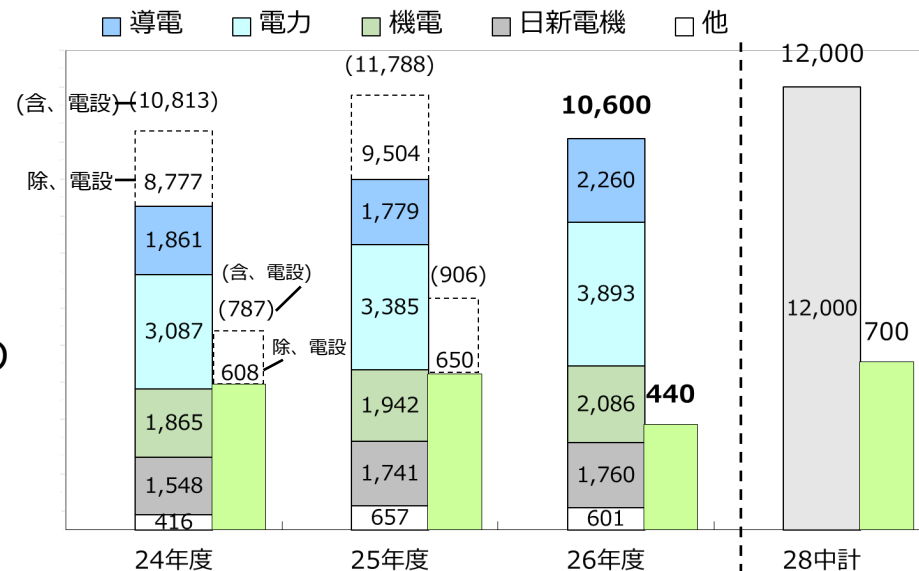
- ・エネルギーインフラに関わる投資が国内外で活況で、電力ケーブルや受変電設備の需要が引き続き堅調。
- ・電動車モータ用平角巻線の需要堅調。
- ・26年度は、電設連結除外、前期銅差益の反動、欧州新拠点の立上、資材・人件費上昇、開発費増などが重なり前期比減益

取組事項

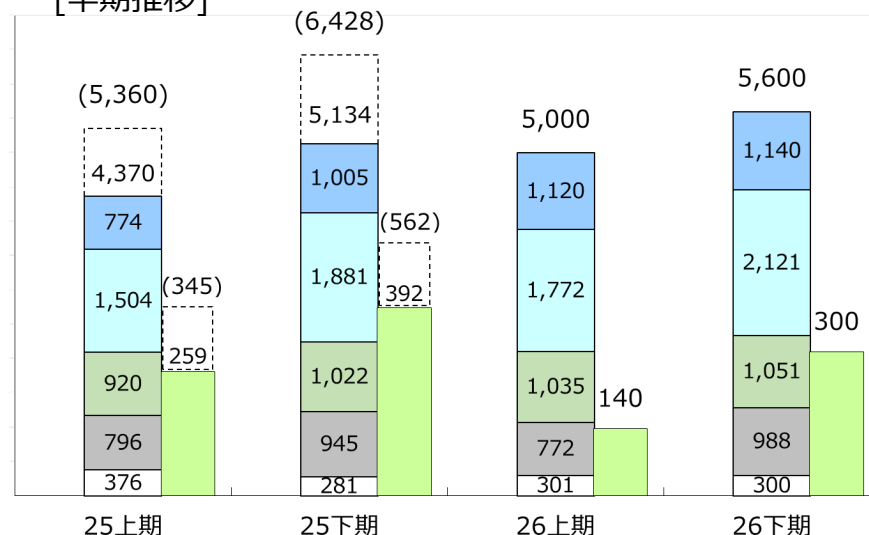
- ✓ 電力ケーブルの受注拡大、欧州新拠点立上げ、コスト低減、品質向上、新製品開発、プロジェクトマネジメント強化
- ✓ 受変電設備の受注拡大、生産能力増強、環境配慮製品の開発・提案強化
- ✓ 電動車用平角巻線のコスト低減、次世代品開発

左：売上高 右：営業利益（億円）

[年度推移]



[半期推移]



3-2. 情報通信

事業環境・26年度見通し

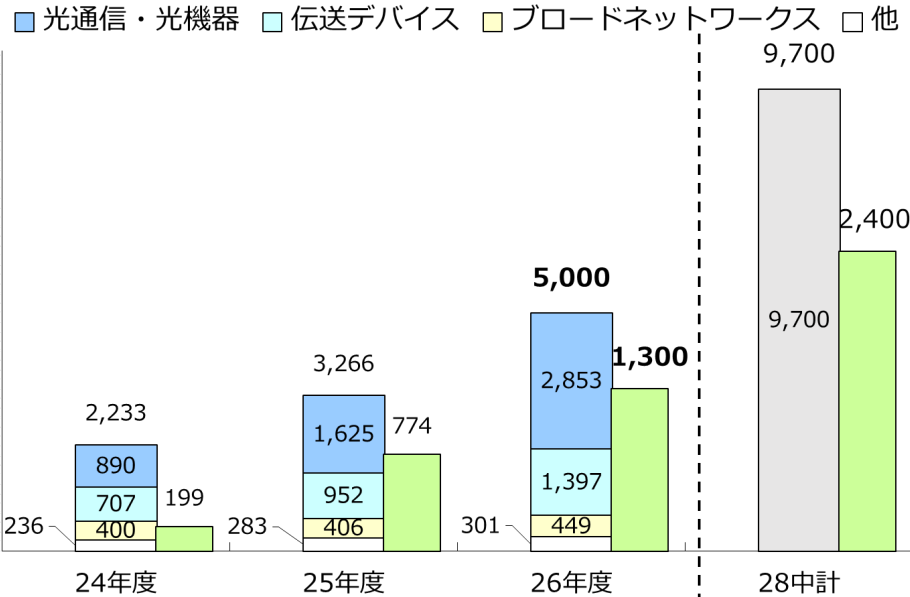
- 生成AI拡大により、データセンター関連製品（光配線製品、光デバイス、光ケーブル、InP基板）の需要がさらに増加。
- データ伝送のさらなる高速化、低遅延化、低消費電力化への要求が一段と高まる。

取組事項

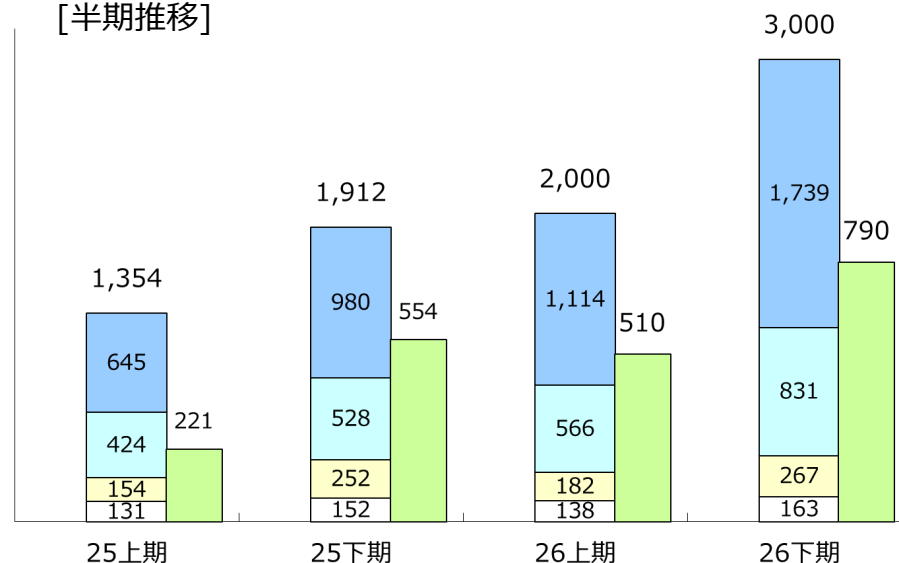
- ✓ データセンター関連製品(光デバイス、光配線製品、光ケーブル、InP基板)の生産能力増強、新製品開発、拡販
- ✓ 海底光ケーブル用極低損失ファイバ、マルチコアファイバの生産能力増強、新製品開発、拡販
- ✓ 基地局用GaNデバイスの生産能力増強、新製品開発、拡販

[年度推移]

左：売上高 右：営業利益（億円）



[半期推移]



3-3. 自動車

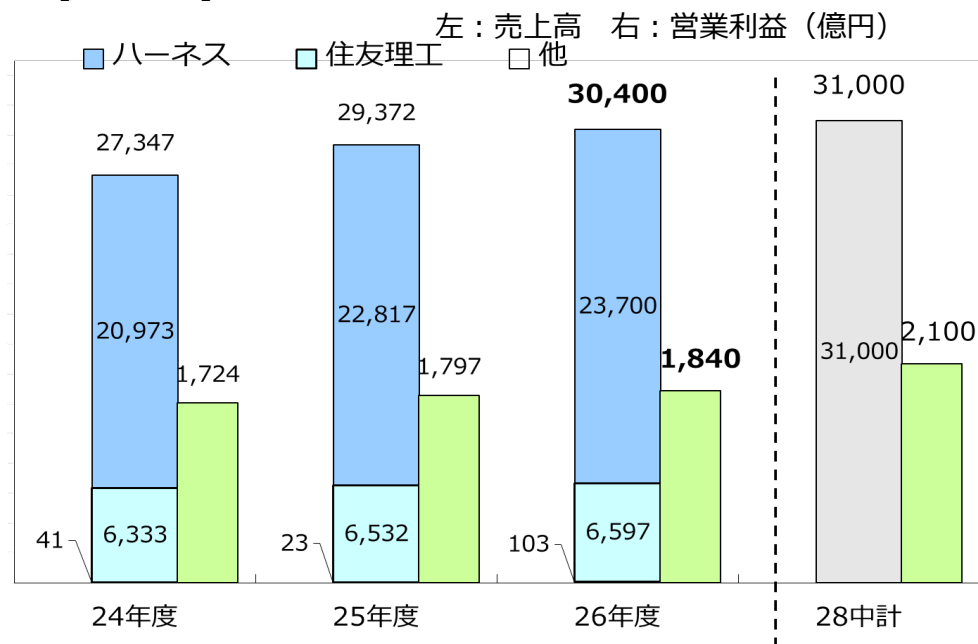
事業環境・26年度見通し

- 世界自動車生産は前期比+2%見込。
- 足元ではEV減速が続くが、日系OEMのHEVは堅調。また、CASE進展の方向性は変わらず。
- 新車立上げ効果もあり、ハーネス、理工とも前期比数量増を計画。

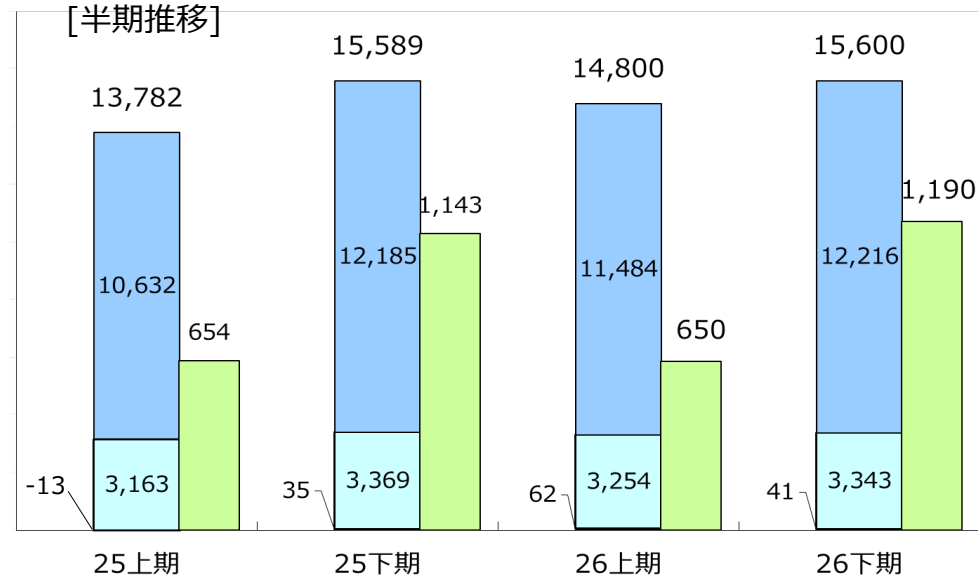
取組事項

- ✓ 中東情勢リスク、米国通商政策など事業環境変化への柔軟な対応
- ✓ 事業体質の強化
(モノづくり力強化・資産効率改善)
- ✓ CASEの新製品創出・拡販
- ✓ 完全子会社化した住友理工とのさらなるシナジー創出

[年度推移]



[半期推移]



3-4. エレクトロニクス

事業環境・26年度見通し

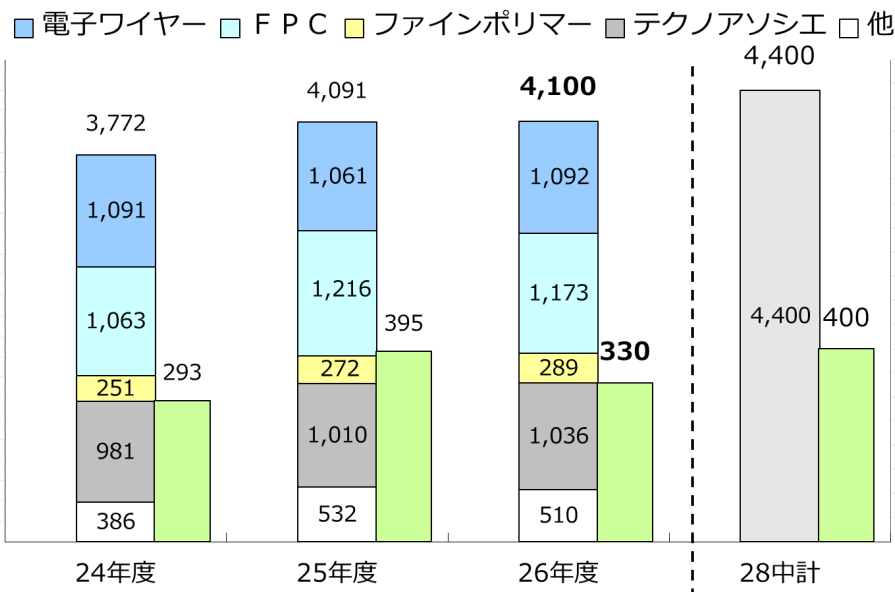
- ・FPCは、主要顧客向けが堅調に推移するも、好調であった前期対比では減収を見込む。
- ・電子ワイヤーは、車載用途などで売上増を見込むほか、航空宇宙等の新規分野も伸長。

取組事項

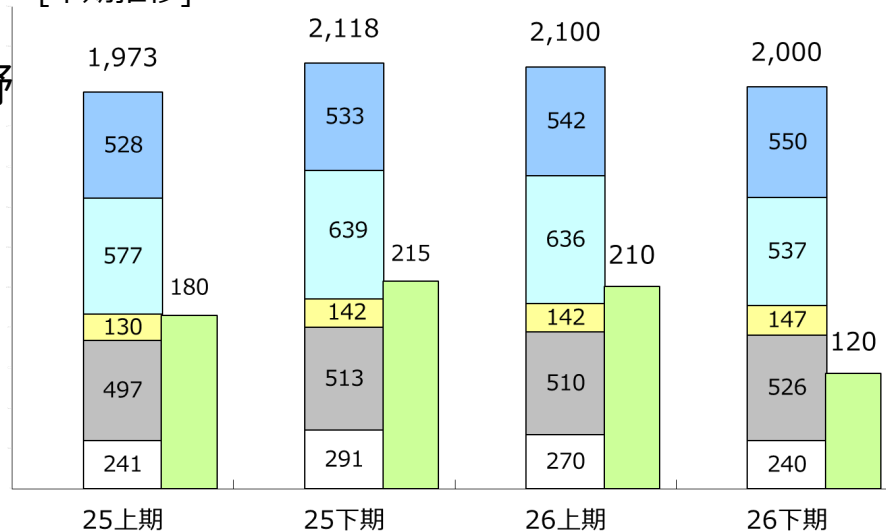
- ✓ FPCのさらなる性能向上、新規分野（データセンター、半導体製造装置等）への拡販
- ✓ 電子ワイヤーの車載用需要捕捉、新規分野（データセンター、航空・宇宙、医療等）への拡販
- ✓ 熱収縮チューブの自動車/航空分野シェア拡大、新規分野（医療・インフラ）拡販
- ✓ 徹底した総原価低減

左：売上高 右：営業利益（億円）

[年度推移]



[半期推移]



3-5. 産業素材

事業環境・26年度見通し

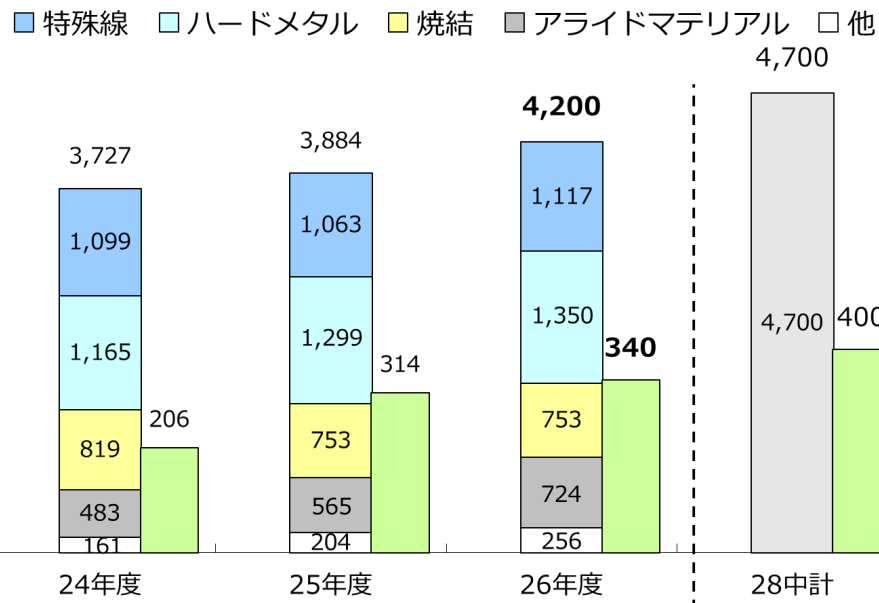
- 超硬製品の拡販や売値改善、原価改善により、26年度は増収増益を計画。
- 半導体、航空機、再エネ関連などの新規市場が拡大。また、インドなどの新興国市場も伸長。

取組事項

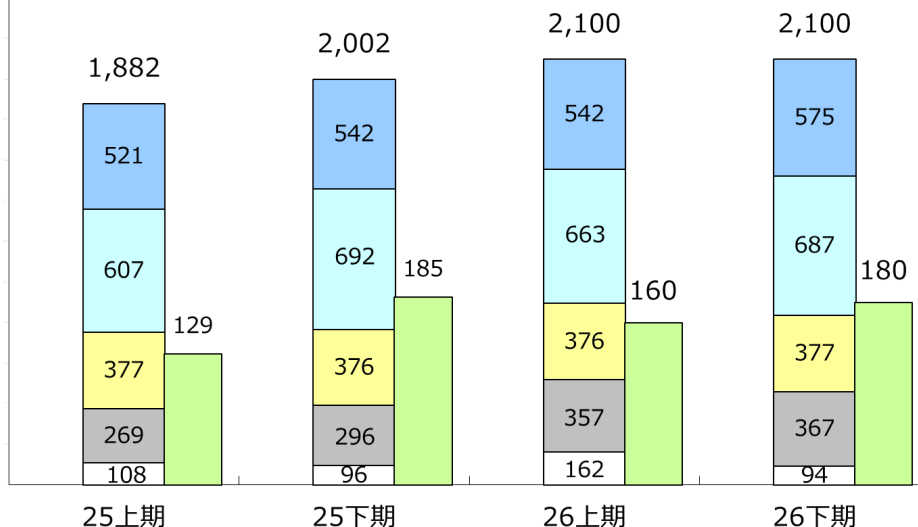
- ✓ 超硬製品のグローバルな拡販と半導体・航空機・再エネなどの新規市場開拓、市場シェア拡大
- ✓ タングステン原料のリサイクル強化
- ✓ 焼結部品の電動車・非車載向けの新製品開発・拡販、コスト競争力強化
- ✓ PC鋼材・ばね用鋼線の製造販売体制強化、新製品開発による収益力向上

左：売上高 右：営業利益（億円）

[年度推移]

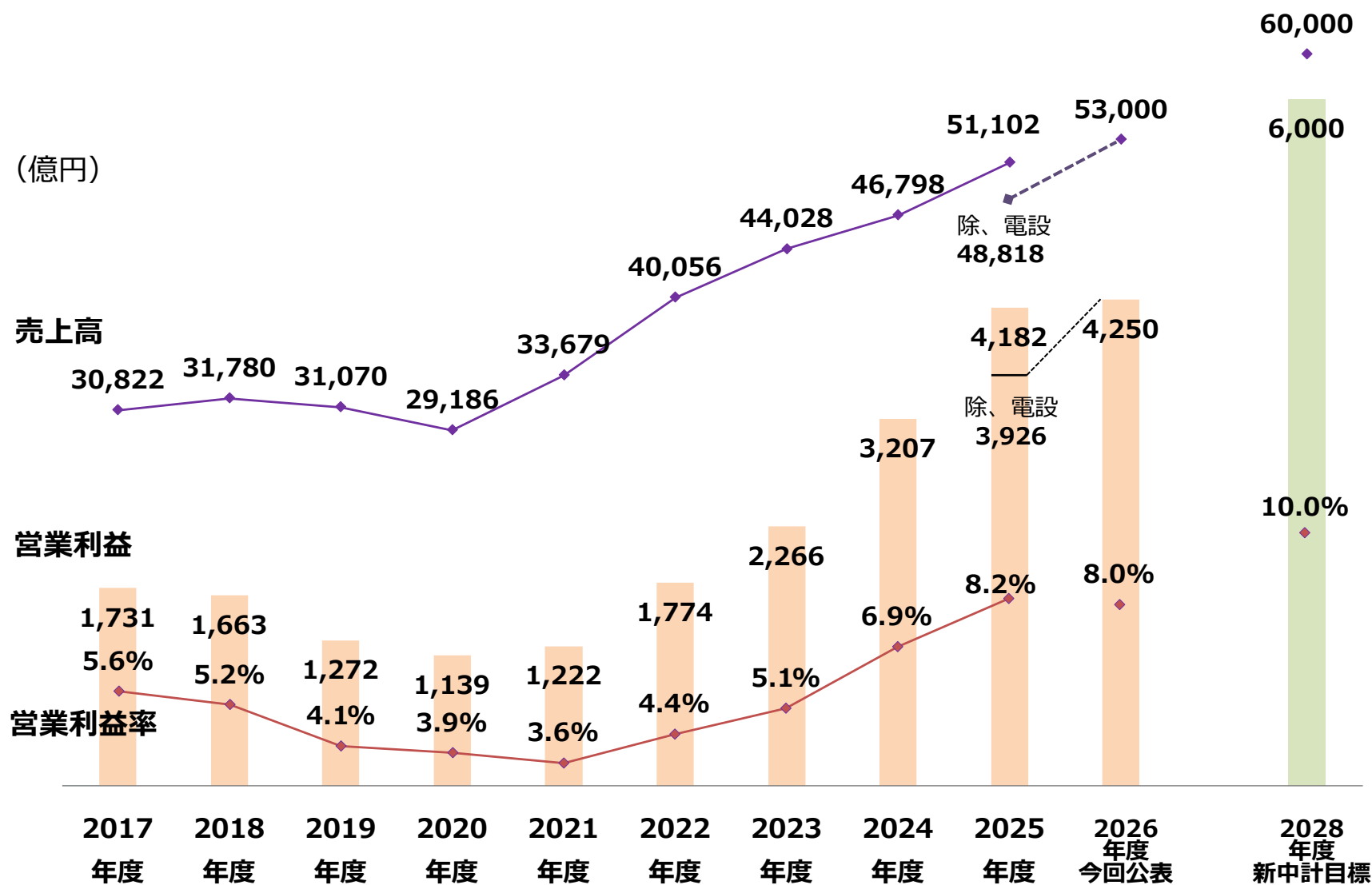


[半期推移]



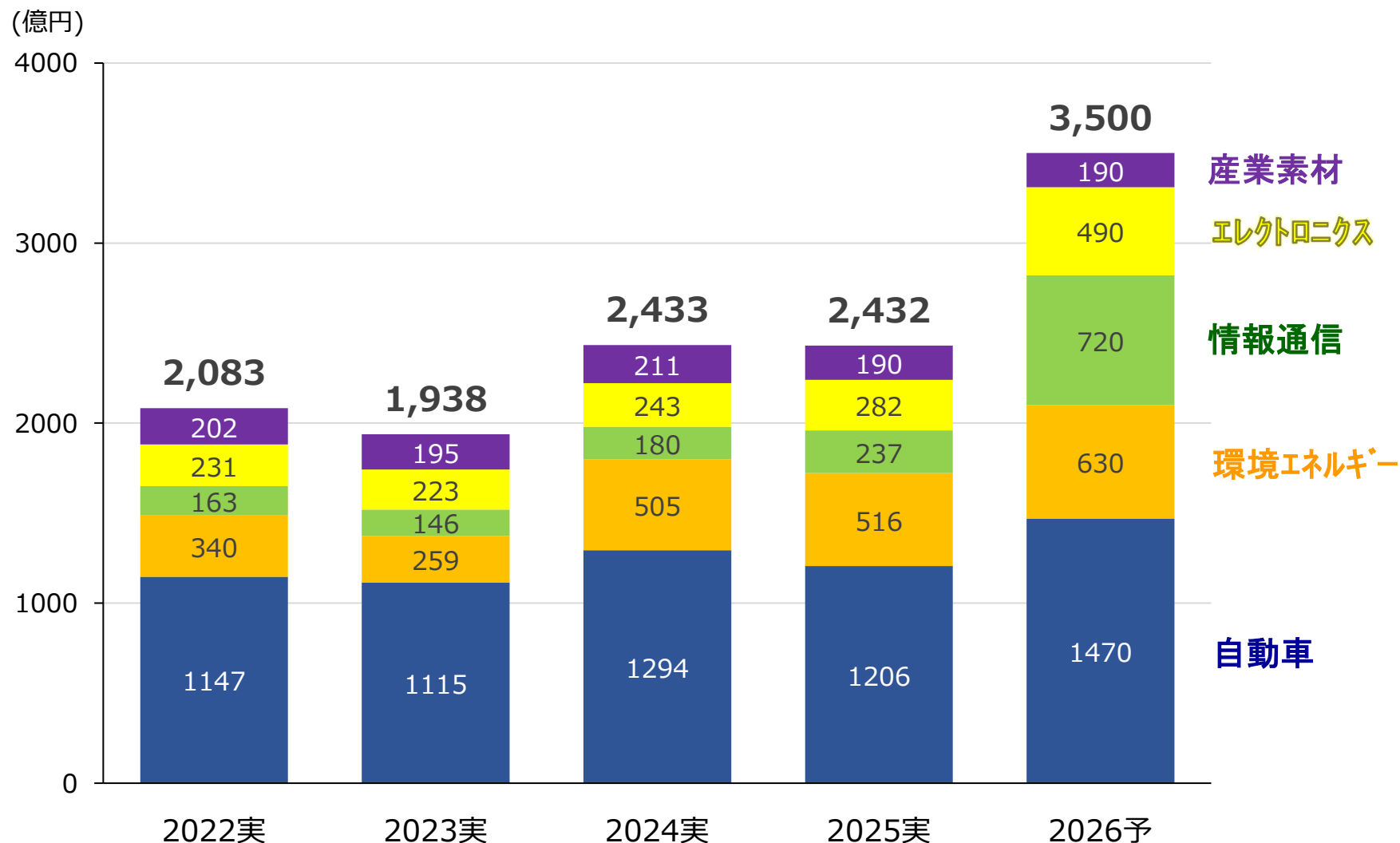
4. 企業価値向上に向けて

4-1. 連結業績推移



4-2. 設備投資

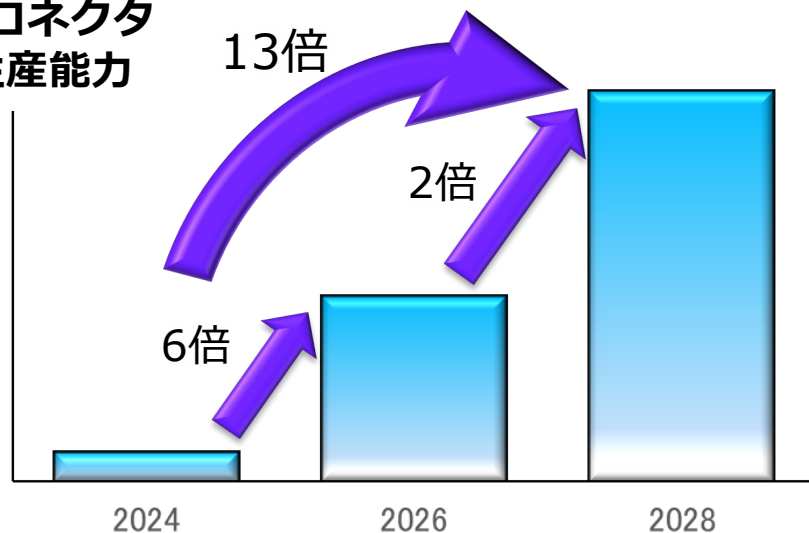
セグメント別設備投資額(検収ベース)



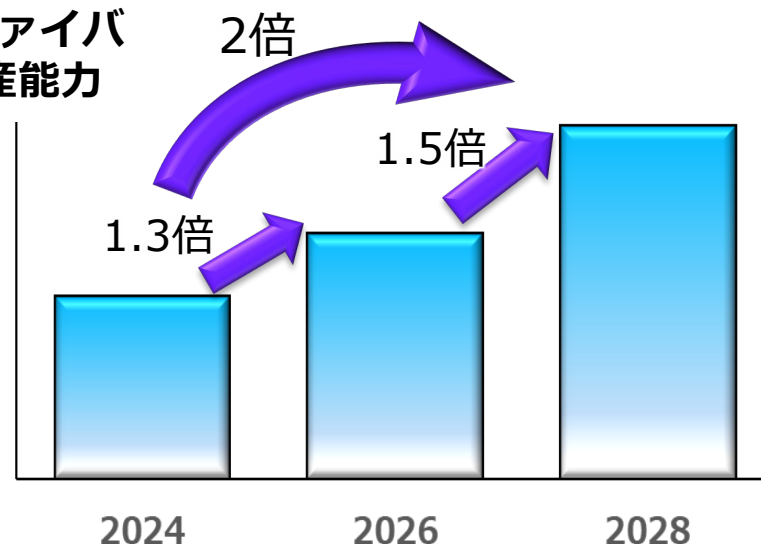
4-2. 設備投資

データセンター関連製品の生産能力増強に注力

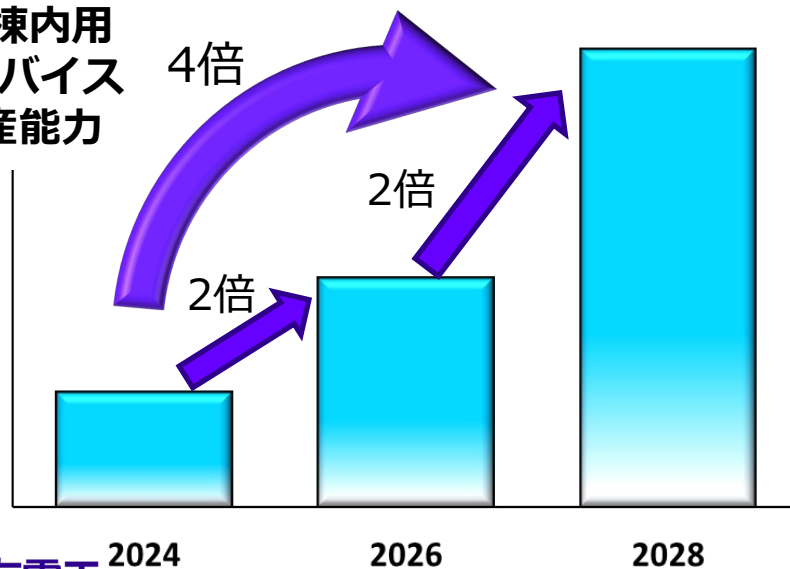
光コネクタ
生産能力



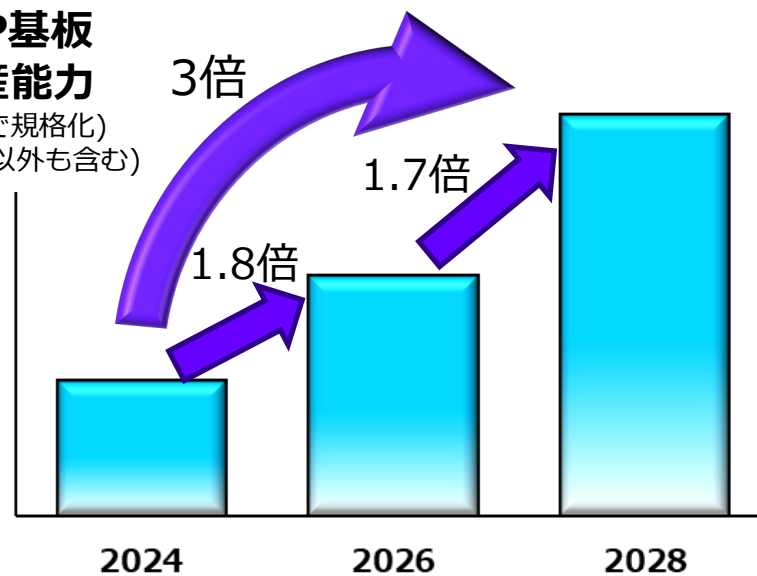
光ファイバ
生産能力



DC棟内用
光デバイス
生産能力



InP基板
生産能力
(面積で規格化)
(DC向け以外も含む)

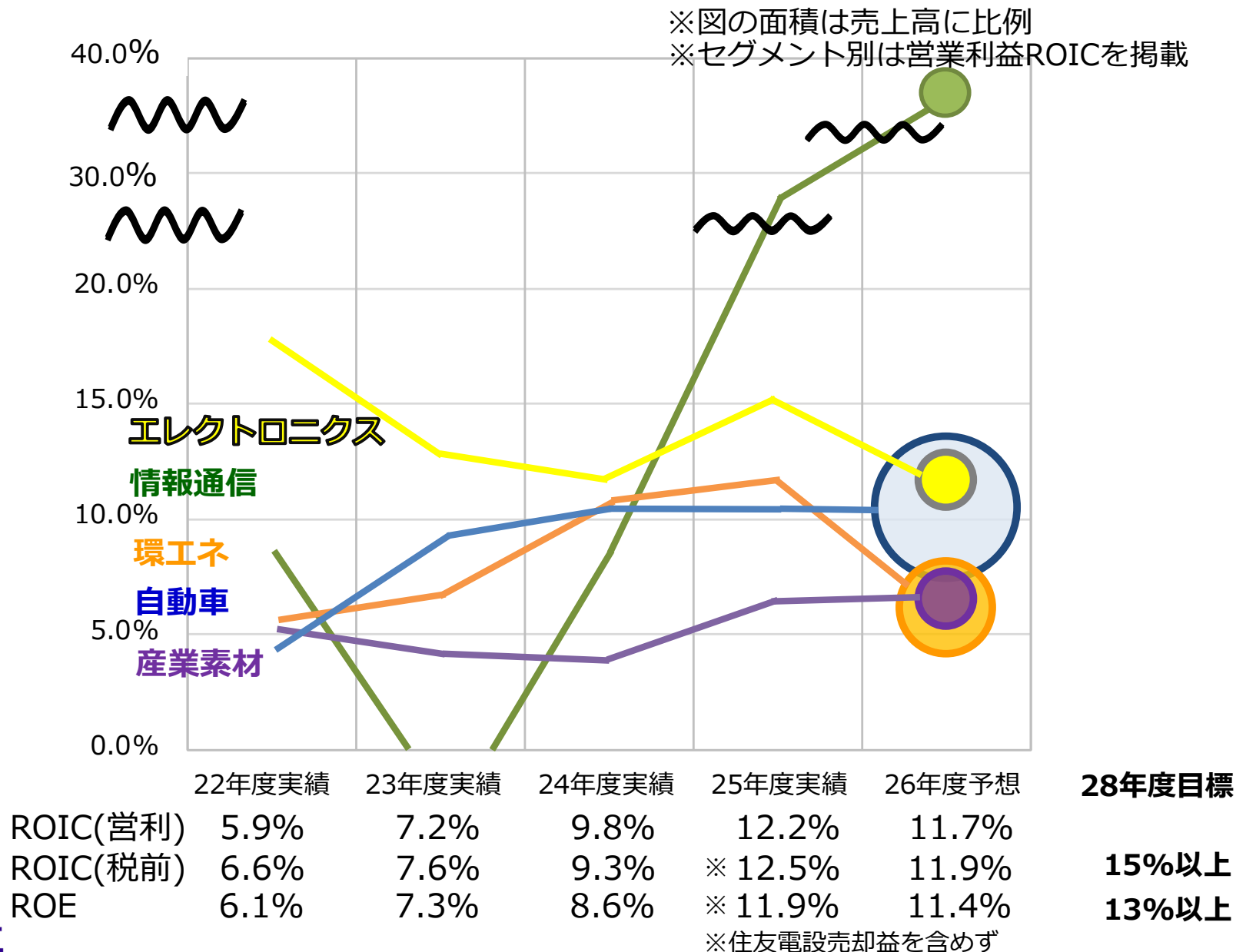


4－3．ROIC改善の取組み

効率性向上に向けて、ROICを最重要指標に設定し改善に取り組む

| ROICツリー項目 | | 重点取組事項 |
|------------|-------------------|---|
| 収益力 向上 | 営業利益率改善 | <ul style="list-style-type: none">・ 高付加価値化による収益性向上・ 革新的技術・製法の追求・ 受注採算改善 |
| | 金利負担削減 | <ul style="list-style-type: none">・ 有利子負債削減(財務体質の健全化) |
| 資産効率 改善 | B S 全般 | <ul style="list-style-type: none">・ 部門別 B／S・フリーC F 管理強化 (部門別W A C Cの試算)・ 政策保有株式見直し |
| | C C C (運転資産改善) | <ul style="list-style-type: none">・ 棚卸残高・保有日数の改善・ 債権・債務の残高・保有日数の改善 |
| | 有形固定資産 | <ul style="list-style-type: none">・ 設備投資マネジメント (投資確度向上と投資予算運営の強化) |

4-4. ROE・セグメント別ROIC推移



4－5．株式分割

内容

分割の割合　： 普通株式 1 株を 4 株に分割
基準日　　　： 2026年6月30日(火)
効力発生日　： 2026年7月　1日(水)

目的

当社株式の投資単位を引き下げることにより、投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整え、投資家層の更なる拡大を図ることを目的に実施します。

配当

今回の株式分割は、2026年7月1日を効力発生日としているため、2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当金(104円)は、分割前の株式が対象となります。2027年3月期の配当予想(中間19円、期末20円)は、分割後の株式が対象となります。

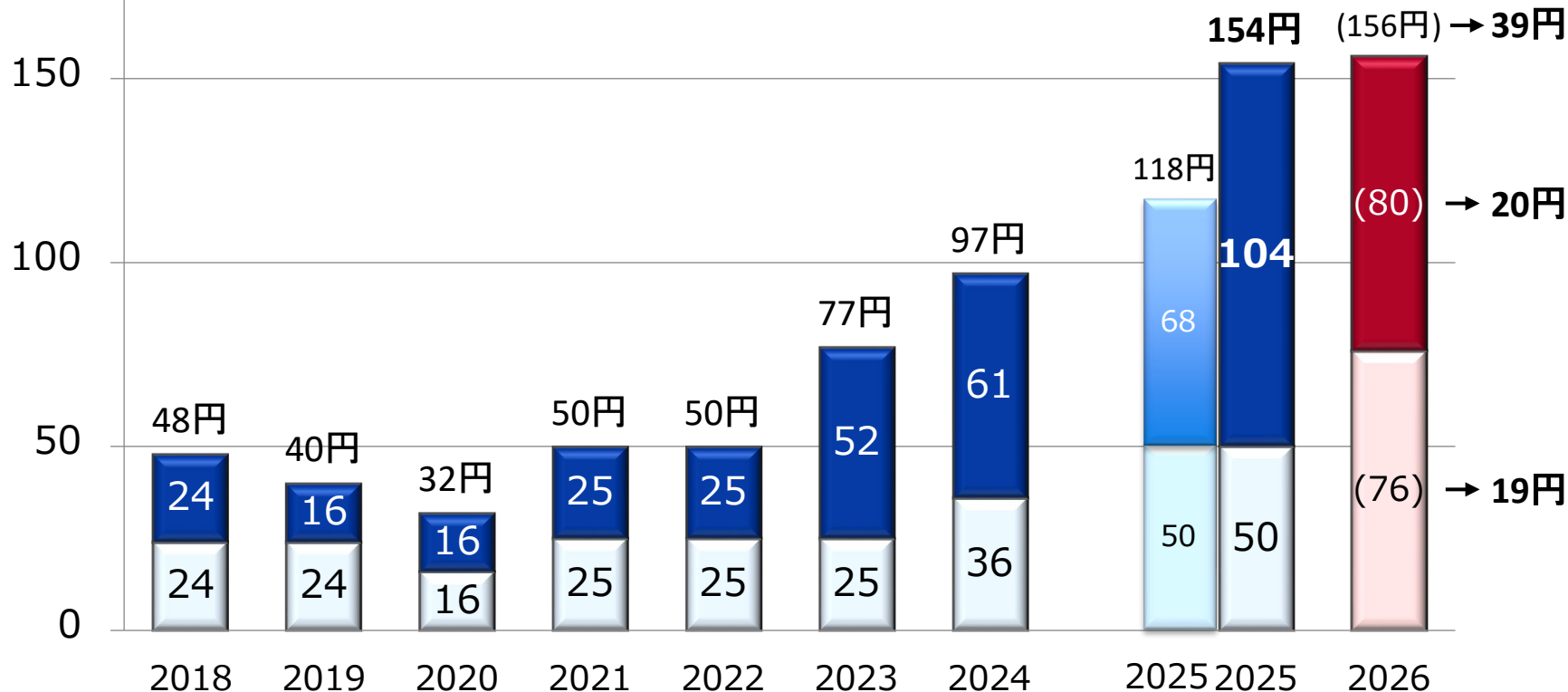
4-6. 株主還元・配当

2026年7月1日付で
1株を4株へ分割

(円/株) 200

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

(分割前換算) 分割後



1株当り利益(円) 151.38 93.24 72.25 123.49 144.45 191.98 248.47

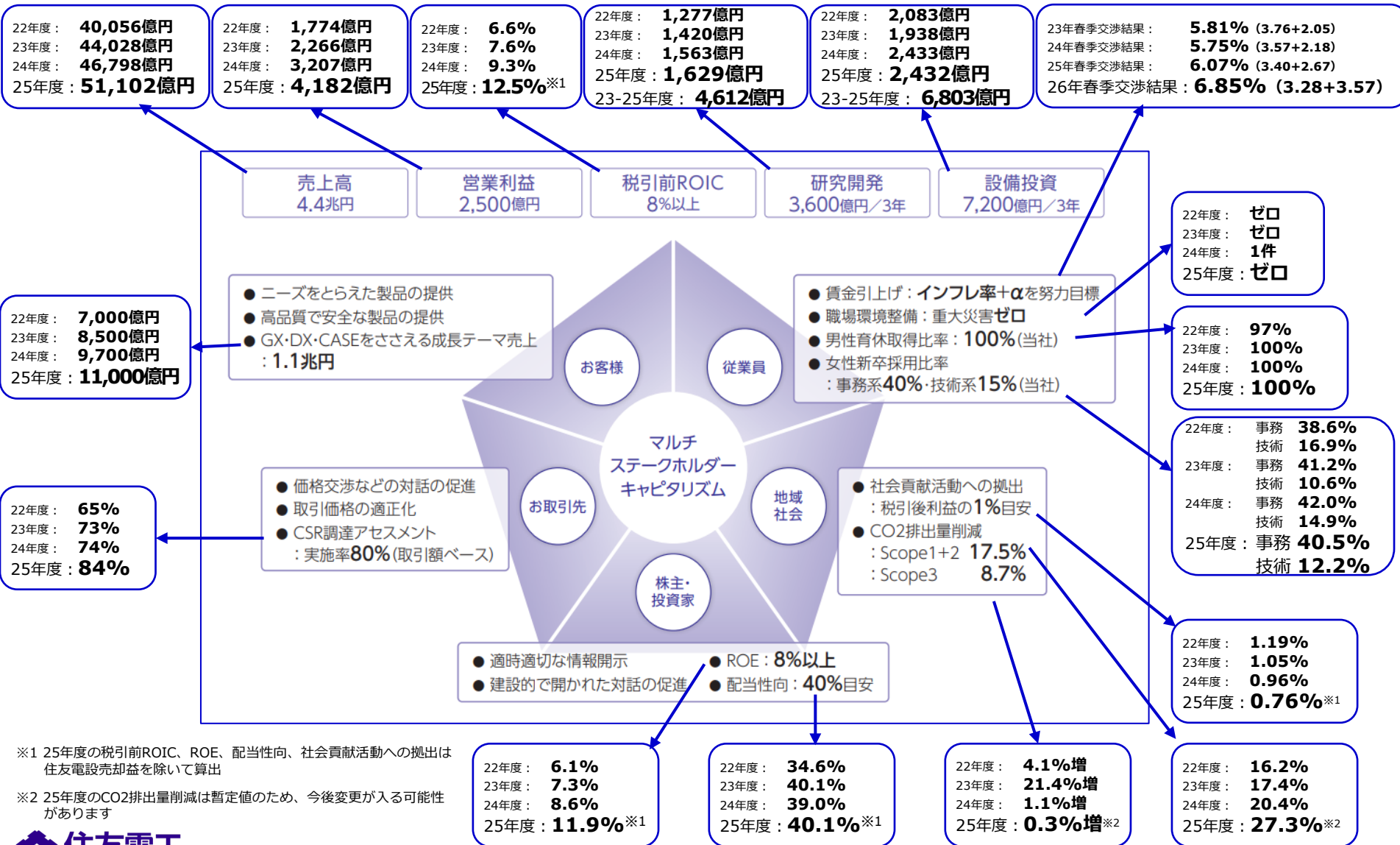
配当性向 31.7% 42.9% 44.3% 40.5% 34.6% 40.1% 39.0%

2025 前公表 383.79 (410.30) → 102.57
40.1% 38.0% → 38.0%

住友電設売却益を
除いて算出

4-7. 「五方よし」マルチステークホルダーキャピタリズム

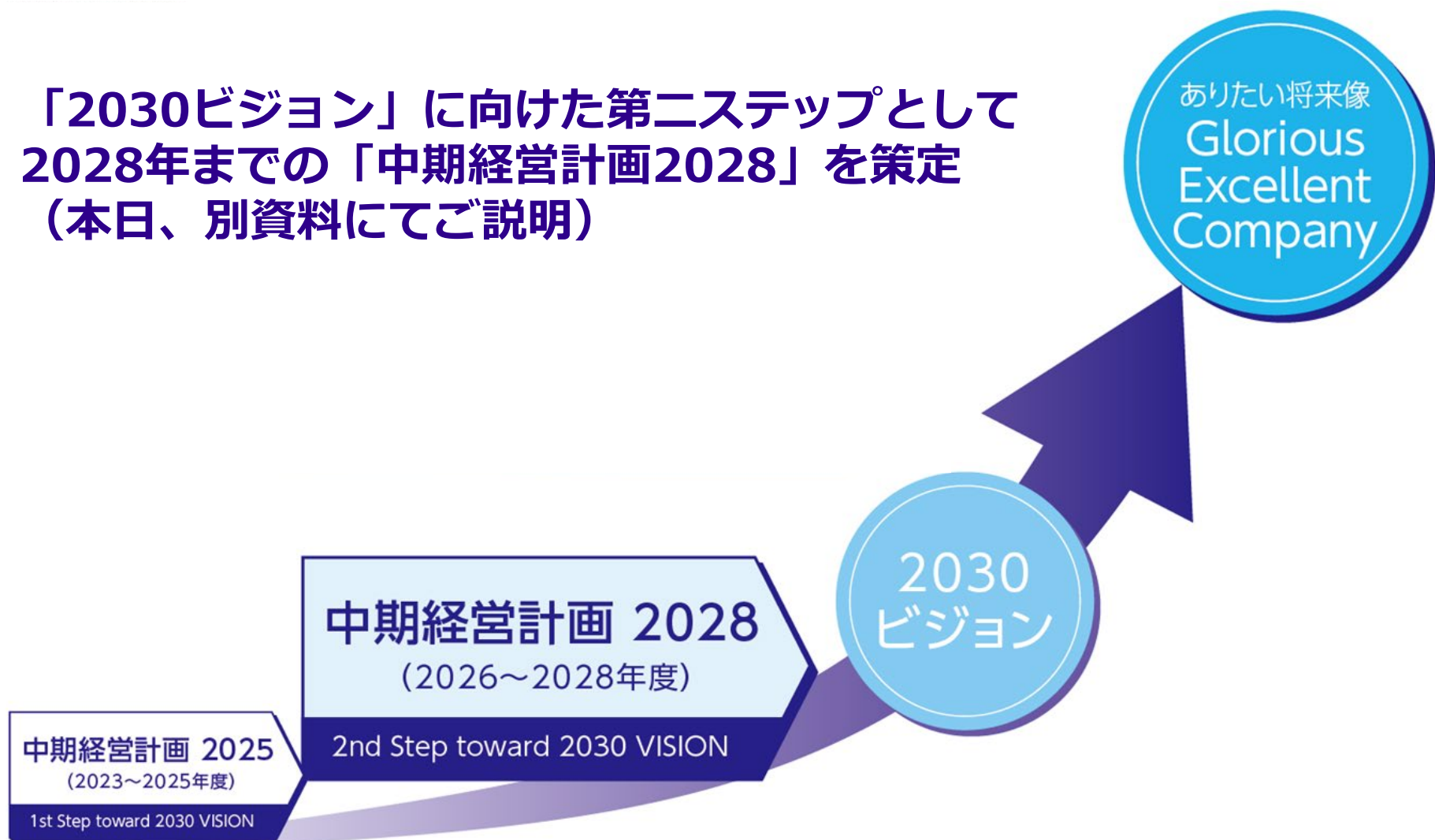
各ステークホルダーに対する定量目標は概ね達成



※1 25年度の税引前ROIC、ROE、配当性向、社会貢献活動への拠出は住友電設売却益を除いて算出
 ※2 25年度のCO2排出量削減は暫定値のため、今後変更が入る可能性があります

4－8．中期経営計画2028

「2030ビジョン」に向けた第二ステップとして
2028年までの「中期経営計画2028」を策定
(本日、別資料にてご説明)



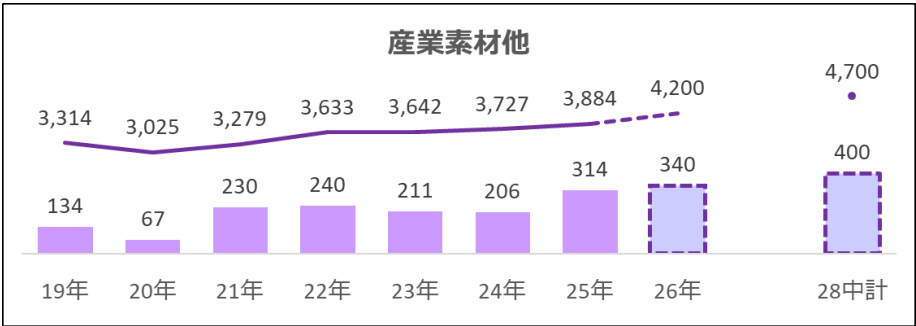
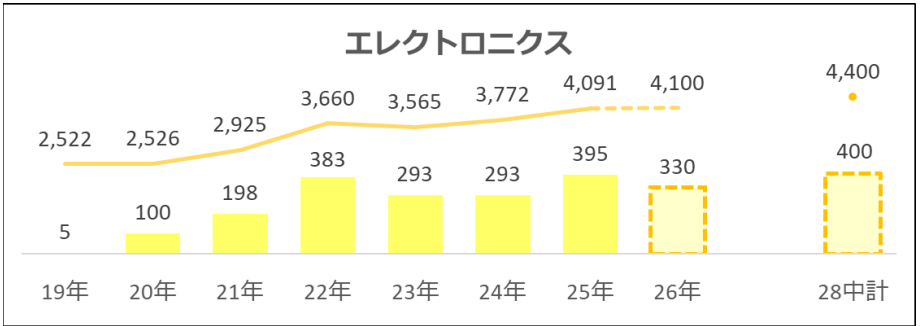
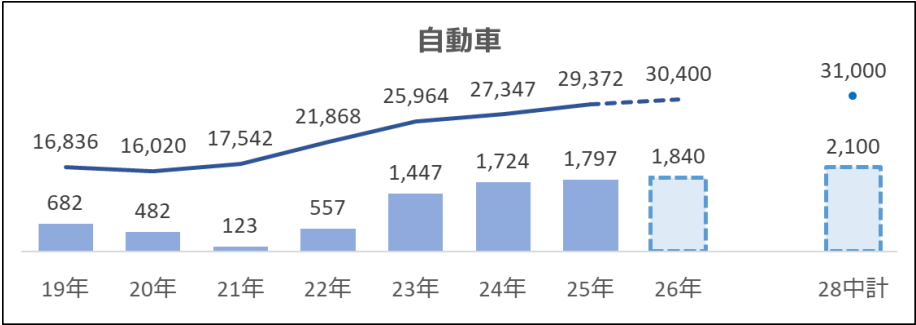
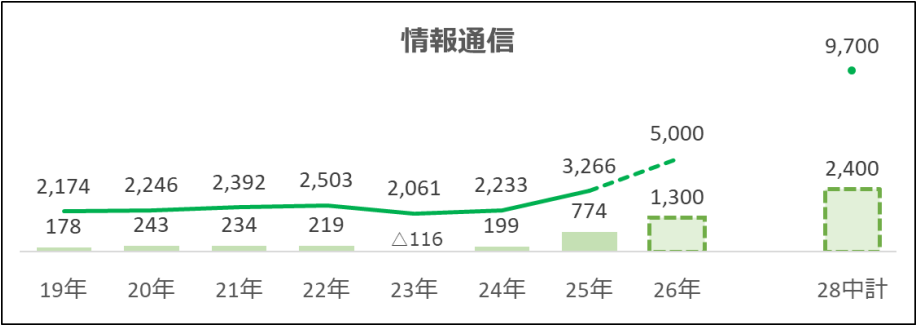
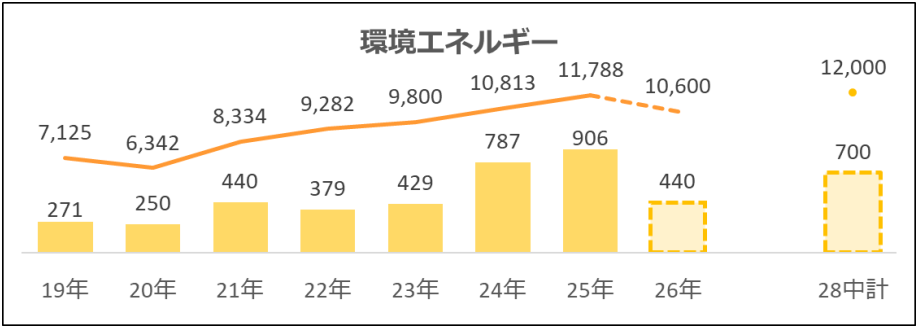
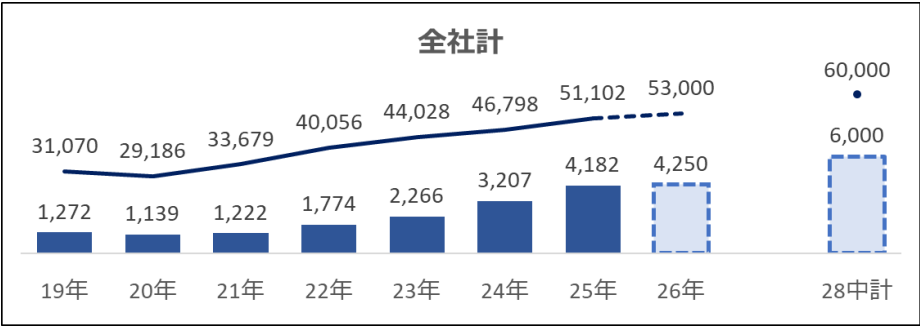
(ご参考)株価推移

当社株価推移(直近5年間)

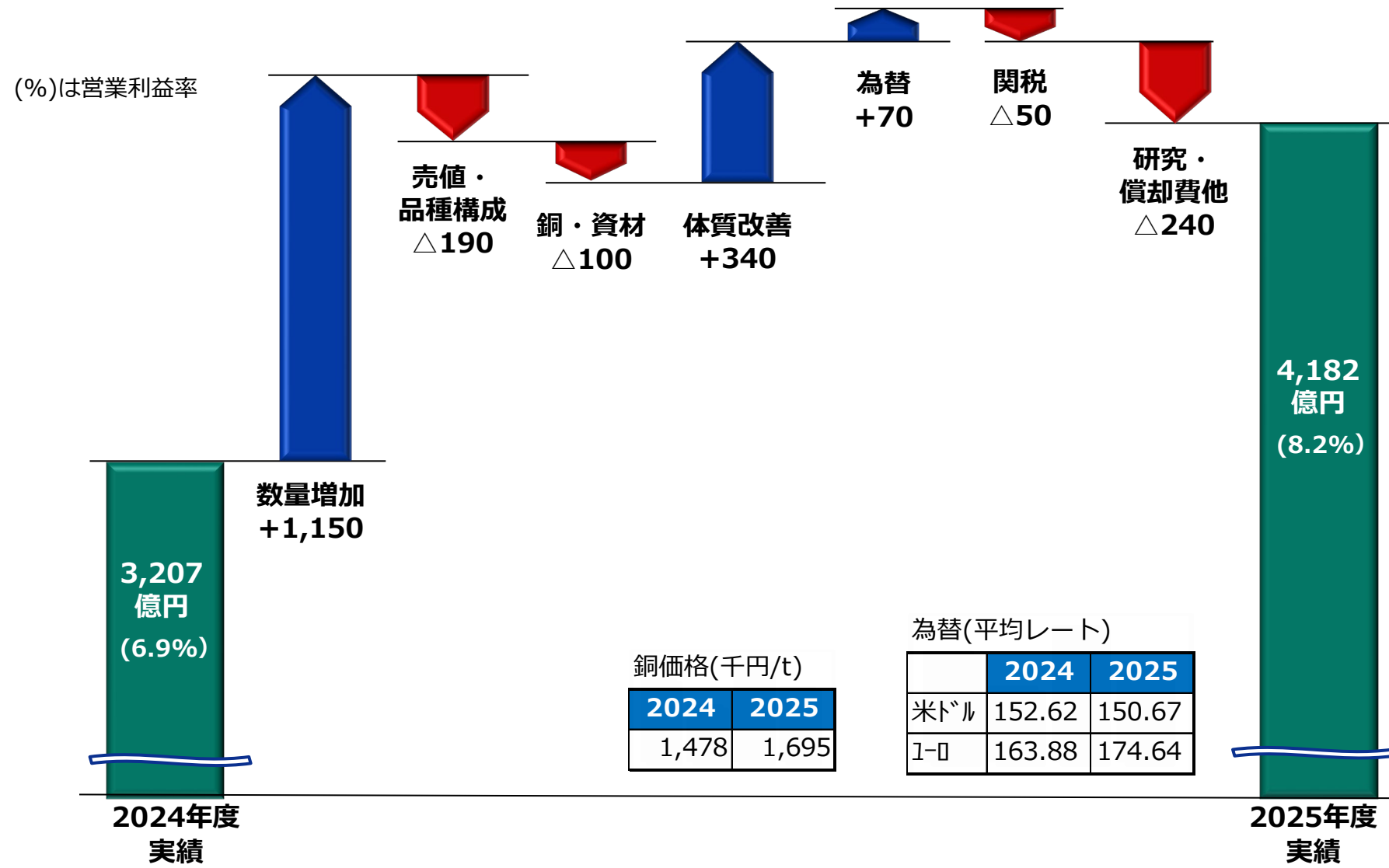


(ご参考)通期業績推移

折れ線:売上高 縦棒:営業利益 (単位:億円)

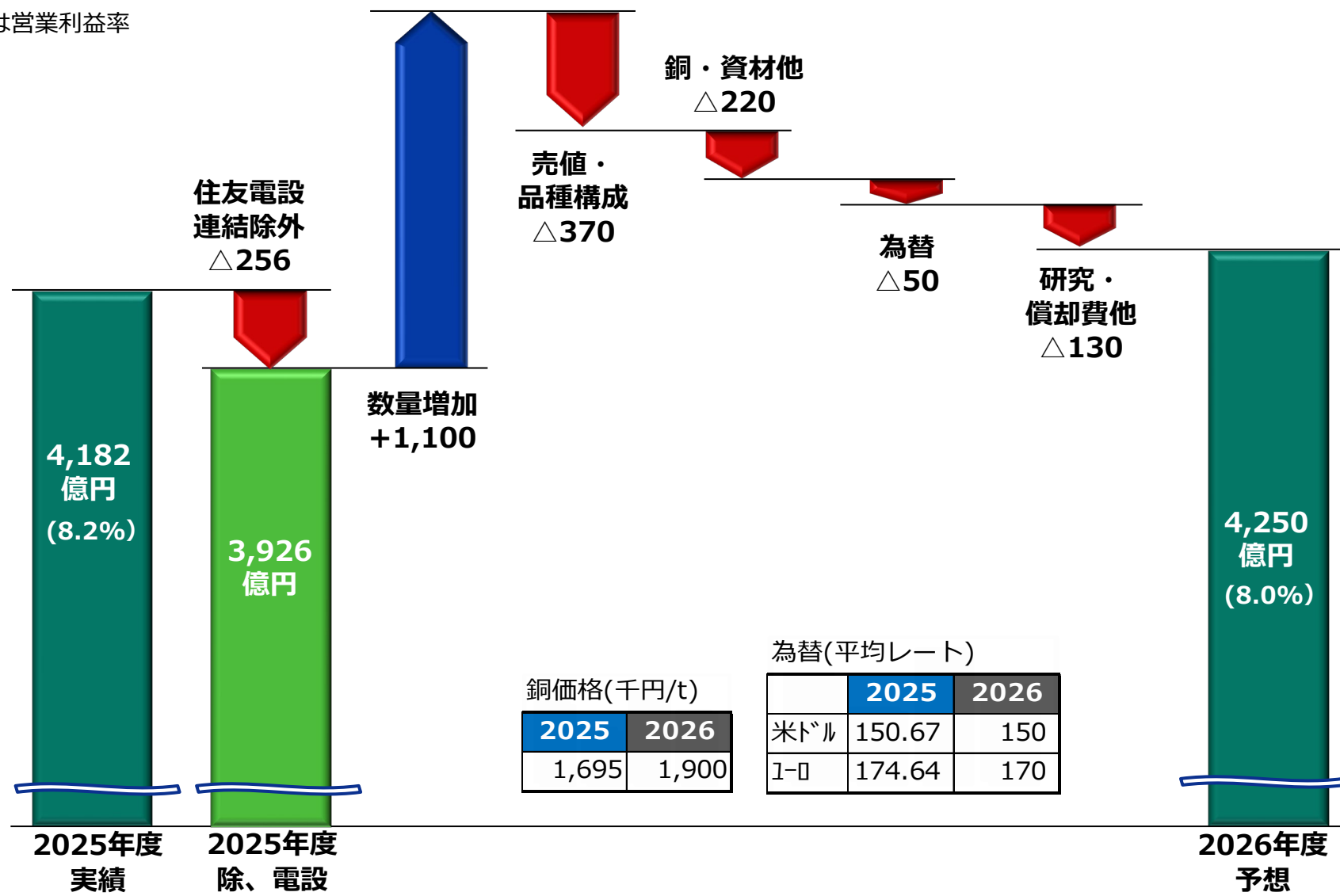


(ご参考)営業利益の増減益要因 (24実→25実)



(ご参考)営業利益の増減益要因 (25実→26予)

(%)は営業利益率



(ご参考)政策保有株式

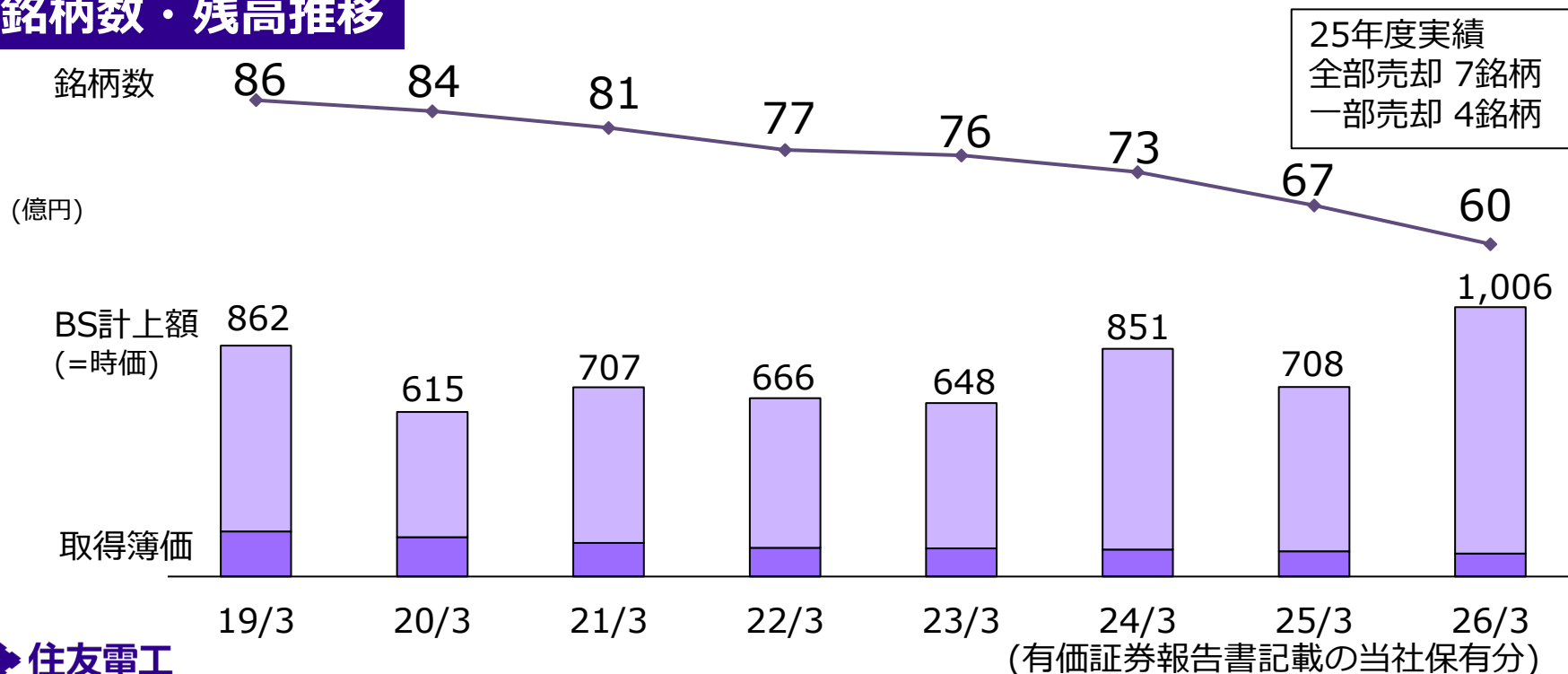
政策保有株式の方針 (24年11月 IR説明会再掲)

各銘柄の保有意義を従来以上に更に厳しく精査

子会社保有の純投資分も含めて3,000億円強（24年9月末）の残高があるが、今後数年のうちに少なくとも半減すべく、積極的に圧縮を進める

獲得するキャッシュは、将来の成長投資や株主還元を活用

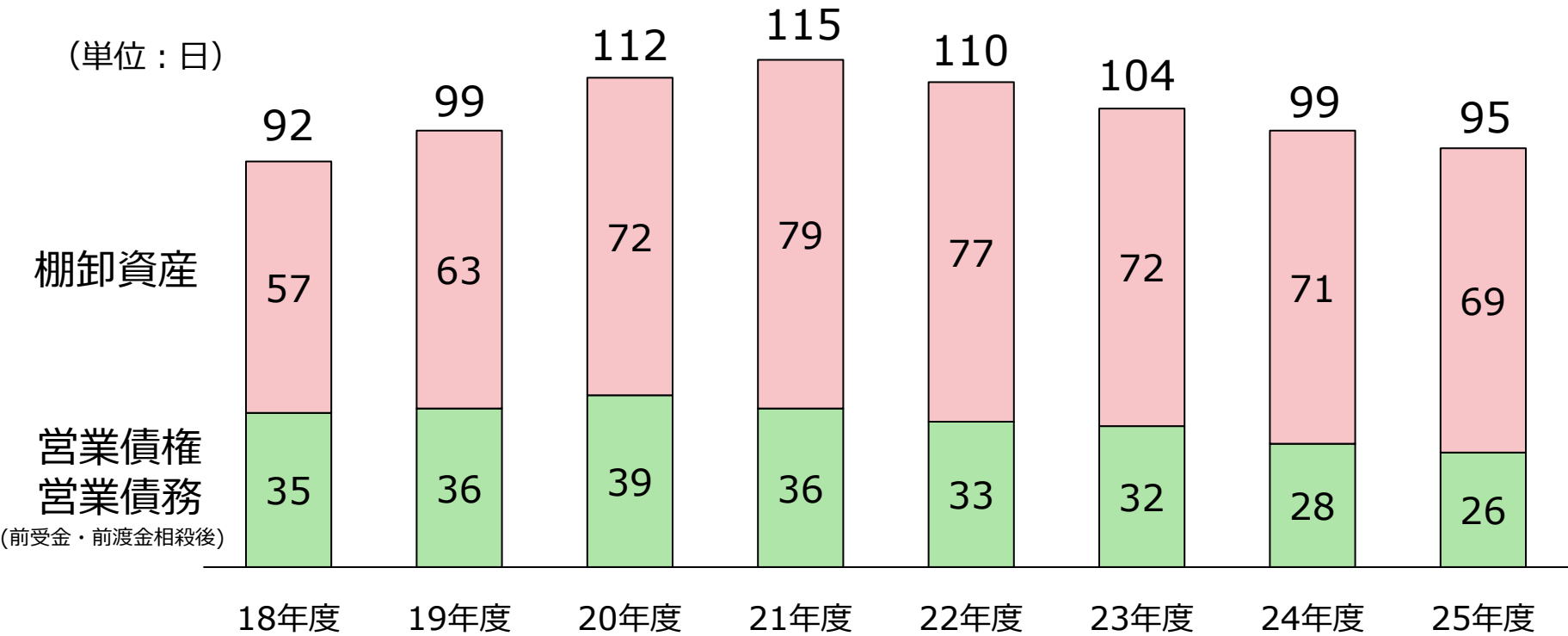
銘柄数・残高推移



(ご参考) 運転資金

CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)

コロナ禍前の水準に戻すべく取組みを推進



取組み事例

製造・調達リードタイム短縮
債権債務サイトの交渉

DXを活用した在庫見える化
取引先別ROIC分析

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



Connect with Innovation

<https://sumitomoelectric.com/jp/>